

南知多町学校施設長寿命化計画（案）

令和 3 年 3 月

南知多町教育委員会

目 次

1. 学校施設長寿命化計画の背景、目的	1
(1)背景と目的	1
(2)計画の位置づけ	1
(3)計画期間	2
(4)対象施設	3
2. 学校施設の目指すべき姿	5
(1)適正規模と適正配置を配慮した安全・安心な学校施設	5
(2)教育環境、教育の質の向上	5
(3)計画的・効率的でかつ持続可能な学校施設整備と運営	5
(4)地域コミュニティの核として機能する学校施設	5
3. 人口・児童生徒数の推移と学校施設の概要	6
3. 1. 学校施設の配置状況	6
(1)学校施設の配置状況	6
(2)構造、築年数、保有面積、利用状況等	6
3. 2. 児童生徒数等の状況	9
(1)人口推移及び将来児童生徒数	9
①校区別人口の推移	9
②児童数及び生徒数の推移	10
③地区別児童数及び生徒数の推移予測	11
3. 3. 老朽化状況の実態整理	13
(1)現地調査による実態把握	13
(2)長寿命化の判定フロー、長寿命化判定の結果	17
3. 4. 学校施設関連経費の状況	20
(1)施設整備費・維持管理費	20
3. 5. 学校施設が直面する課題	21
(1)児童生徒数の減少による施設の空洞化	21
(2)整備費用の集中	21
(3)教育環境の変化に対応した教育環境の整備	21
3. 6. 今後の維持管理コスト	22
(1)維持管理コスト、修繕更新コスト	22
4. 基本的な方針	23
(1)施設の基本方針	23
①教育の質向上と機能の整備そして適正化	23
②施設の長寿命化と予防保全に取り組む	23
(2)目標耐用年数の設定	24
(3)長寿命化のパターン検討	25

①条件設定.....	25
②パターン検討.....	26
③長寿命化パターンの検討結果.....	28
5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等.....	29
(1)改修等の整備水準.....	29
(2)維持管理の項目・手法等の設定.....	30
6. 長寿命化の実施計画の策定.....	31
6.1.長寿命化の実施による維持管理費用の見通し.....	31
6.2. 劣化状況等による優先順位の設定.....	32
(1)劣化状況等による優先順位.....	32
(2)築年数による優先順位.....	33
(3)優先順位.....	34
①優先順位の考え方.....	34
②優先順位の設定.....	34
6.3.計画期間内の実施計画.....	36
7. 長寿命化計画の継続的運用方針.....	37
(1)情報基盤の整備と活用.....	37
(2)推進体制等の整備.....	37
(3)財源の確保.....	37
(4)フォローアップ.....	37

1. 学校施設長寿命化計画の背景、目的

(1) 背景と目的

南知多町は、小学校 6 校、中学校 5 校を有しており、本町が保有する公共建築物における延床面積の約 5 割を占めています。また、学校施設は昭和 40 年～50 年代に建築され、築 30 年以上の施設が約 9 割となっており、老朽化が進んでいます。そのため、一度に改修等の時期を迎えることになり、多額の費用を要することになります。

また、本町の平成 27 年国勢調査における人口は 18,707 人ですが、10 年後は 15,053 人、20 年後 11,752 人、30 年後 8,790 人と推計されています。人口減少が予測されるなか、学校施設のあり方、整備については根本的な課題解決を図っていくことが必要です。

一方、平成 25 年に国において策定された、「インフラ長寿命化基本計画」において、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取り組みの方向性をあきらかにする計画としてインフラ長寿命化計画を策定するとし、本町では、「南知多町公共施設等総合管理計画」を策定いたしました。

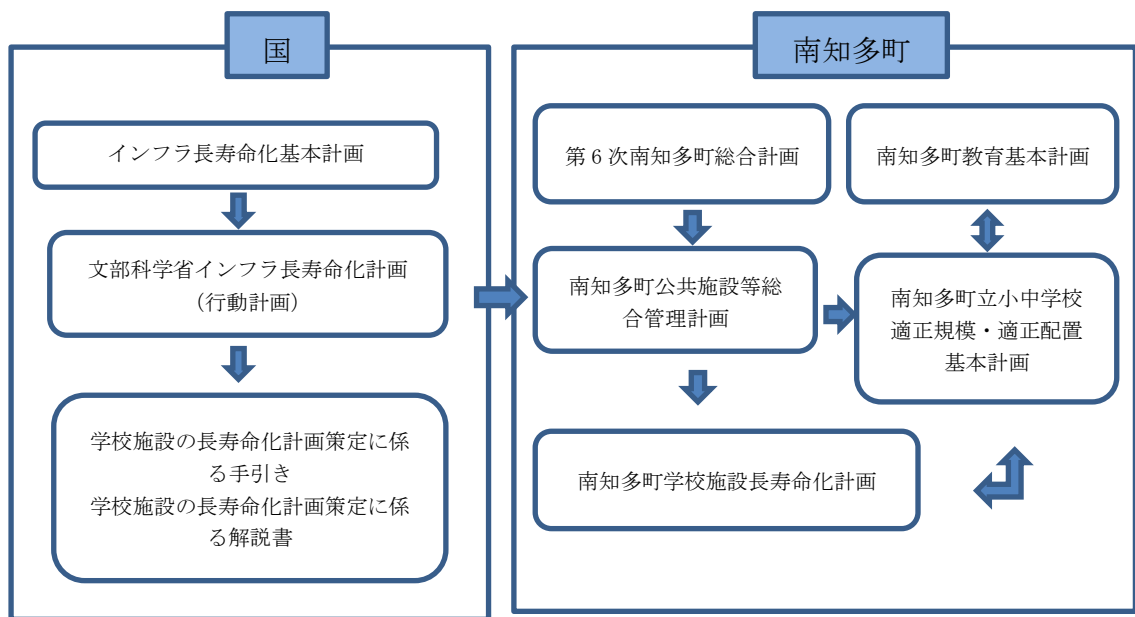
さらに、各地方公共団体は公共施設総合管理計画に基づき、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として、個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）を策定することとされました。

このような背景を踏まえ、学校規模の適正化、統廃合の進行状況を踏まえながら、長寿命化できるものは長寿命化し、中長期的な維持管理等に係る財政負担の縮減及び予算の平準化を図りつつ、今後の学校施設の維持・管理・更新等を進めていくことを目的とし、「南知多町学校施設長寿命化計画」を策定します。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、南知多町のまちづくりに関する最上位計画である「第 6 次南知多町総合計画」や「南知多町公共施設等総合管理計画」、「南知多町教育基本計画」、「南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画」等との整合を図りながら、学校施設整備の基本的な方針や水準を示し、学校施設の長寿命化を図る計画として位置づけます。

なお、中学校施設の規模・配置計画について、現在、「南知多町立中学校適正配置実施計画」を作成中であるため、今後、中学校の適正な配置について新たな考え方がまとまった場合には、本計画の修正の必要性を含め検討することとします。



(3) 計画期間

本計画においては、今後、少子化や学習環境などの変化に対応する計画を推進するためには中長期的な視点が不可欠であることから、計画期間については、令和3(2021)年度から令和42(2060)年度とし、このうち第1期実施計画を、予算措置を考慮した令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とします。

なお、以後10年ごとに事業の進捗状況・児童生徒数の推移・町財政運営状況などを踏まえ、見直しを行うことを基本とします。

(4) 対象施設

本計画における対象施設は、小学校 6 校、中学校 5 校とします。

区分	学校名
小学校 (6 校)	内海小学校
	豊浜小学校
	大井小学校
	師崎小学校
	篠島小学校
	日間賀小学校
中学校 (5 校)	内海中学校
	豊浜中学校
	師崎中学校
	篠島中学校
	日間賀中学校

■対象施設の基本情報

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年		築年数
							西暦	和暦	
1	内海小学校	本校舎	15	R C	3	2,577	1973	S 48	47
2	内海小学校	特別教室棟	18	R C	2	932	1980	S 55	40
3	内海小学校	屋内運動場	17	R C	2	626	1978	S 53	42
4	豊浜小学校	北校舎	15	R C	3	2,684	2007	H 19	13
5	豊浜小学校	南校舎	10	R C	3	1,692	1978	S 53	42
6	豊浜小学校	屋内運動場	8	R C	2	752	1974	S 49	46
7	大井小学校	本校舎	1	R C	3	1,951	1965	S 40	55
8	大井小学校	特別教室棟	8	R C	3	1,094	1984	S 59	36
9	大井小学校	屋内運動場	7	R C	2	713	1981	S 56	39
10	師崎小学校	本校舎	10	R C	3	2,467	1980	S 55	40
11	師崎小学校	特別教室棟	1	R C	2	681	1968	S 43	52
12	師崎小学校	屋内運動場	8	R C	2	496	1968	S 43	52
13	篠島小学校	本校舎	14	R C	3	1,223	1978	S 53	42
14	篠島小学校	屋内運動場	18	R C	1	756	1993	H 5	27
15	日間賀小学校	本校舎	1	R C	3	2,277	1970	S 45	50
16	日間賀小学校	屋内運動場	9	S	2	984	1976	S 51	44
17	内海中学校	本校舎	1	R C	3	2,956	1964	S 39	56
18	内海中学校	特別教室棟	6	R C	3	663	1982	S 57	38
19	内海中学校	屋内運動場	8	R C	2	1,454	1988	S 63	32
20	豊浜中学校	本校舎	1	R C	3	3,296	1970	S 45	50
21	豊浜中学校	特別教室棟	2	R C	3	1,291	1971	S 46	49
22	豊浜中学校	屋内運動場	5	R C	2	1,509	1971	S 46	49
23	師崎中学校	本校舎	1	R C	2	1,531	1960	S 35	60
24	師崎中学校	東特別教室棟	2	R C	2	605	1970	S 45	50
25	師崎中学校	西特別教室棟	17	R C	2	1,162	1983	S 58	37
26	師崎中学校	屋内運動場	22	R C	2	1,562	1990	H 2	30
27	篠島中学校	本校舎	15	R C	5	2,027	1980	S 55	40
28	篠島中学校	屋内運動場	12	R C	2	604	1977	S 52	43
29	日間賀中学校	本校舎	1	R C	2	1,008	1962	S 37	58
30	日間賀中学校	西特別教室棟	11	R C	3	568	1974	S 49	46
31	日間賀中学校	北特別教室棟	15	R C	3	605	1984	S 59	36
32	日間賀中学校	屋内運動場	20	R C	2	788	1984	S 59	36
						43,534			

※構造/R C : 鉄筋コンクリート造 S : 鉄骨造

2. 学校施設の目指すべき姿

(1) 適正規模と適正配置に配慮した安全・安心な学校施設

人口減少、児童生徒数の減少は避けることのできない課題ですが、児童・生徒が安全で安心して通学でき、学べる学校施設にしていくことが優先されます。

(2) 教育環境、教育の質の向上

安全・安心の学校施設とするとともに、確実な学力を身につけるための多様な教育環境（少人数教室、多目的教室など）を確保し、教師や児童生徒の間で交流が可能な環境や設備が確保できるような整備を進めます。

(3) 計画的・効率的でかつ持続可能な学校施設整備と運営

対処的対応でなく計画的に、かつ持続可能な整備、運営を図ることを目指します。

(4) 地域コミュニティの核として機能する学校施設

学校施設は災害時には避難場所等になるため、防災機能を充実させ、周辺住民が利用しやすいようバリアフリー化を図り、地域のコミュニティの核となることを目指します。

3. 人口・児童生徒数の推移と学校施設の概要

3. 1. 学校施設の配置状況

(1) 学校施設の配置状況



(2) 構造、築年数、保有面積、利用状況等

構造、築年数、保有面積

32 棟のうち S 構造が 1 棟のみで、31 棟すべてが R C 造です。

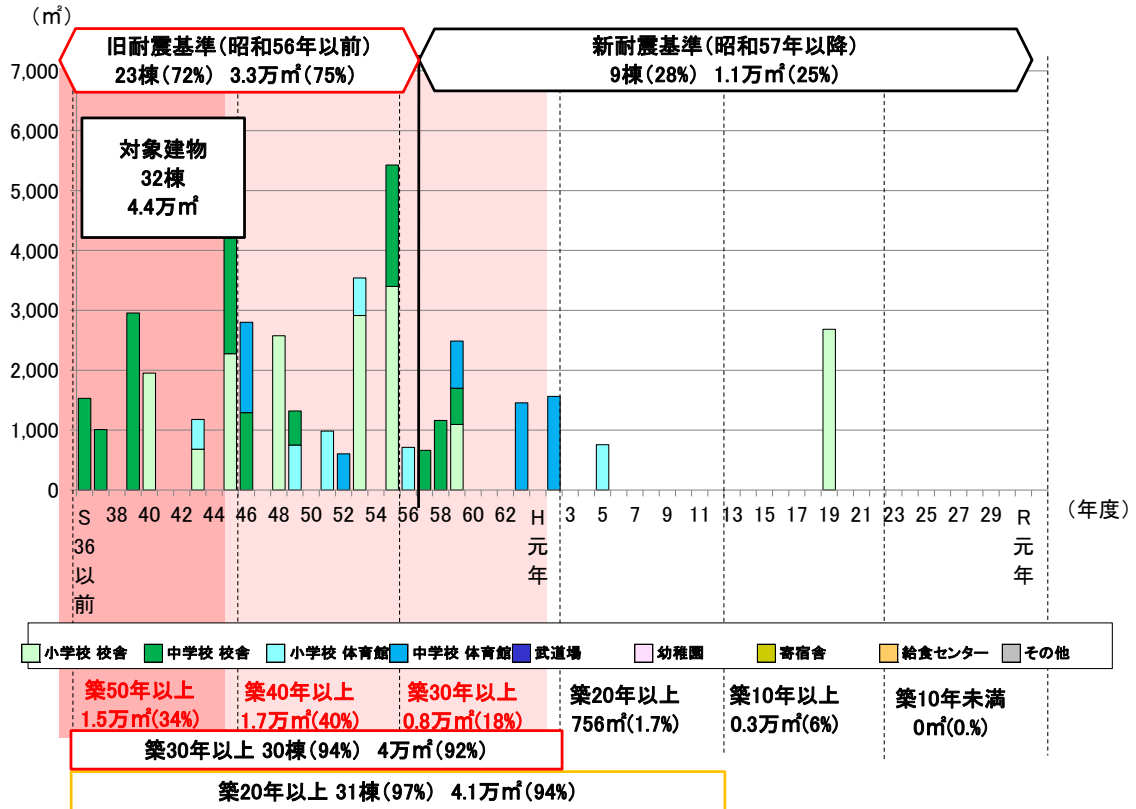
令和 2 年 3 月現在の築年数別にみると、30 年未満が 2 棟、30～40 年未満 8 棟、40～50 年未満 13 棟、50 年以上が 9 棟となっています。総延べ床面積は 43,534 m²です。

建物基本情報 (建築年の新しい順)

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延べ床 面積	建築年		築年数
							西暦	和暦	
4	豊浜小学校	北校舎	15	RC	3	2,684	2007	H19	13
14	篠島小学校	屋内運動場	18	RC	1	756	1993	H5	27
26	師崎中学校	屋内運動場	22	RC	2	1,562	1990	H2	30
19	内海中学校	屋内運動場	8	RC	2	1,454	1988	S63	32
8	大井小学校	特別教室棟	8	RC	3	1,094	1984	S59	36
31	日間賀中学校	北特別教室棟	15	RC	3	605	1984	S59	36
32	日間賀中学校	屋内運動場	20	RC	2	788	1984	S59	36
25	師崎中学校	西特別教室棟	17	RC	2	1,162	1983	S58	37
18	内海中学校	特別教室棟	6	RC	3	663	1982	S57	38
9	大井小学校	屋内運動場	7	RC	2	713	1981	S56	39
2	内海小学校	特別教室棟	18	RC	2	932	1980	S55	40
10	師崎小学校	本校舎	10	RC	3	2,467	1980	S55	40
27	篠島中学校	本校舎	15	RC	5	2,027	1980	S55	40
3	内海小学校	屋内運動場	17	RC	2	626	1978	S53	42
5	豊浜小学校	南校舎	10	RC	3	1,692	1978	S53	42
13	篠島小学校	本校舎	14	RC	3	1,223	1978	S53	42
28	篠島中学校	屋内運動場	12	RC	2	604	1977	S52	43
16	日間賀小学校	屋内運動場	9	S	2	984	1976	S51	44
6	豊浜小学校	屋内運動場	8	RC	2	752	1974	S49	46
30	日間賀中学校	西特別教室棟	11	RC	3	568	1974	S49	46
1	内海小学校	本校舎	15	RC	3	2,577	1973	S48	47
21	豊浜中学校	特別教室棟	2	RC	3	1,291	1971	S46	49
22	豊浜中学校	屋内運動場	5	RC	2	1,509	1971	S46	49
15	日間賀小学校	本校舎	1	RC	3	2,277	1970	S45	50
20	豊浜中学校	本校舎	1	RC	3	3,296	1970	S45	50
24	師崎中学校	東特別教室棟	2	RC	2	605	1970	S45	50
11	師崎小学校	特別教室棟	1	RC	2	681	1968	S43	52
12	師崎小学校	屋内運動場	8	RC	2	496	1968	S43	52
7	大井小学校	本校舎	1	RC	3	1,951	1965	S40	55
17	内海中学校	本校舎	1	RC	3	2,956	1964	S39	56
29	日間賀中学校	本校舎	1	RC	2	1,008	1962	S37	58
23	師崎中学校	本校舎	1	RC	2	1,531	1960	S35	60
						43,534			

旧耐震基準棟は23棟3.3万㎡、新耐震基準棟は9棟1.1万㎡計32棟4.4万㎡で、75%が旧耐震基準の建物です。

築年別整備状況



資料：「付属ソフト」により作成

3. 2. 児童生徒数等の状況

(1) 人口推移及び将来児童生徒数

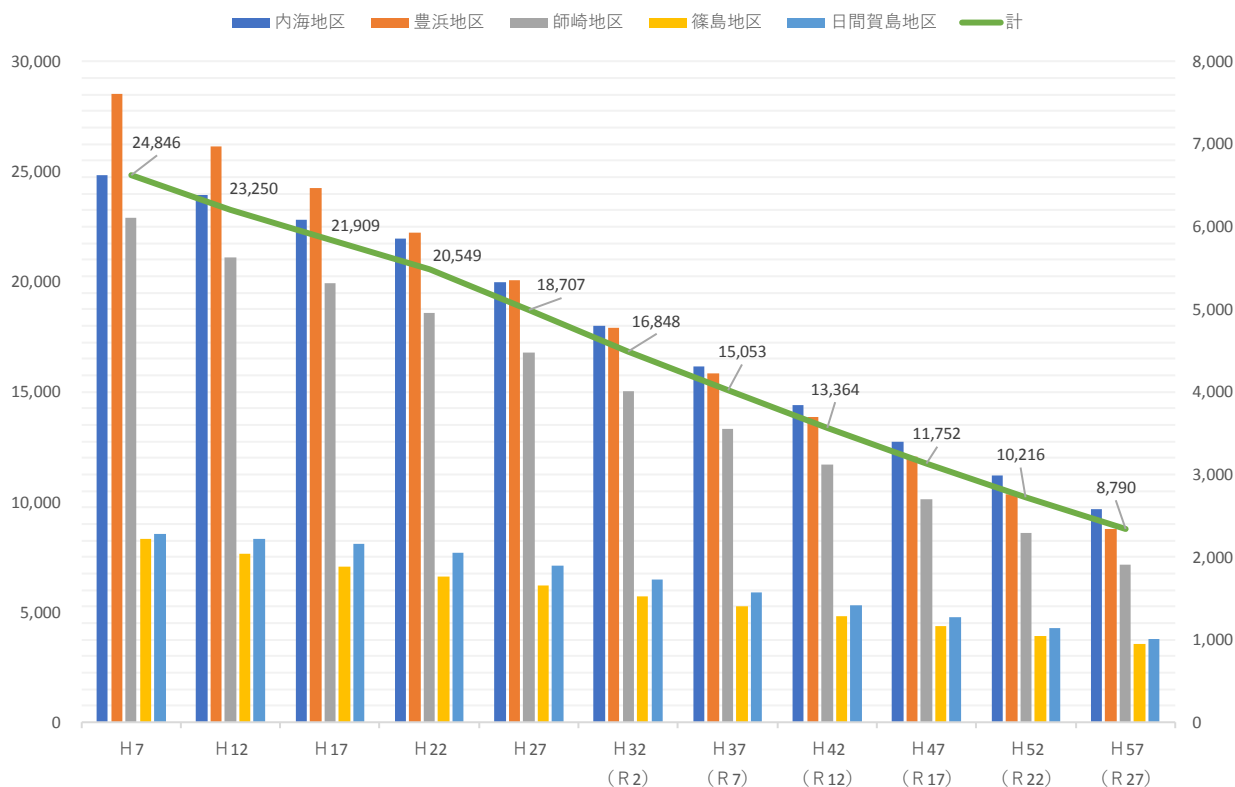
① 校区別人口の推移

国勢調査によると、平成27年現在の人口は18,707人ですが、20年後には11,752人となり、30年後には8,790人と予想されています。校区別にみますと、内海小学校区（内海地区・山海地区）は5,327人、豊浜小学校区（豊浜地区・豊丘地区）5,355人、大井小学校区1,776人、師崎小学校区（片名地区・師崎地区）2,700人、篠島小学校区1,653人、日間賀島小学校区1,896人となっています。

※ここでは、国勢調査人口による推計利用のため、整理上、片名地区を師崎小学校区へ整理しています。

■ 校区別人口推移（単位：人）

資料：国勢調査人口により推計

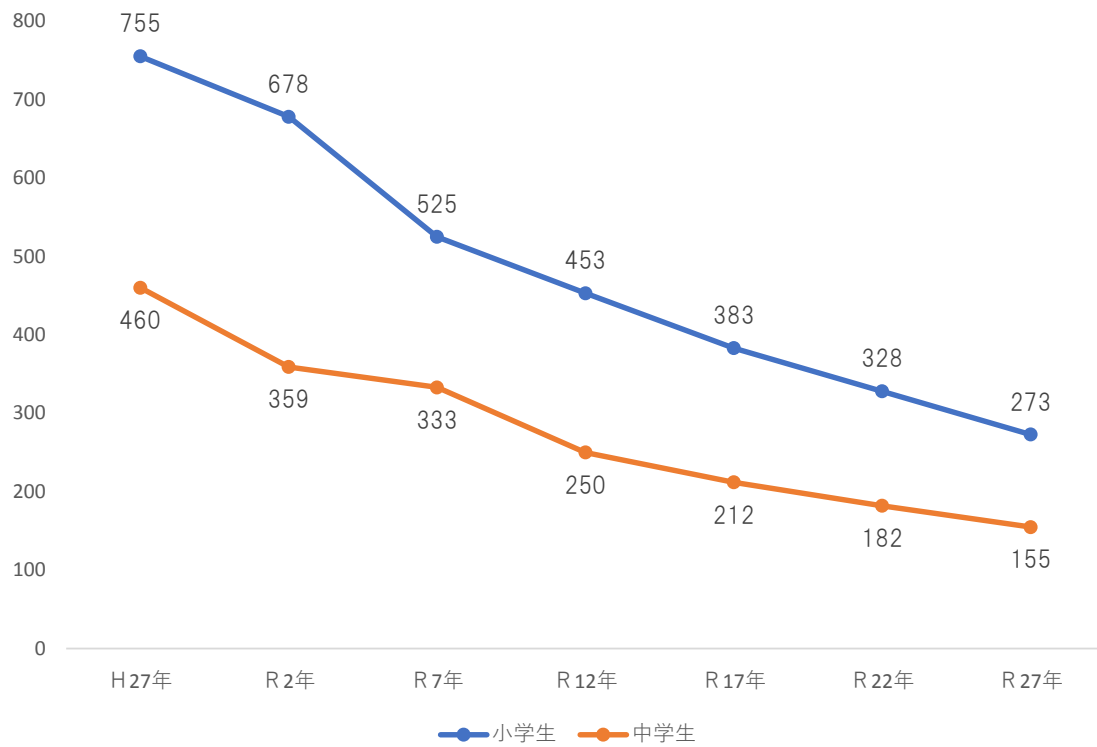


児童数及び生徒数の推移

平成 27 年の全町小学生は 755 人、中学生は 460 人であるが、10 年後（令和 7 年）には小学生 525 人、中学生 333 人、20 年後（令和 17 年）には小学生 383 人、中学生 212 人になると予想されます。

■児童数及び生徒数の推移（単位：人）

	H27年	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
小学生	755	678	525	453	383	328	273
中学生	460	359	333	250	212	182	155



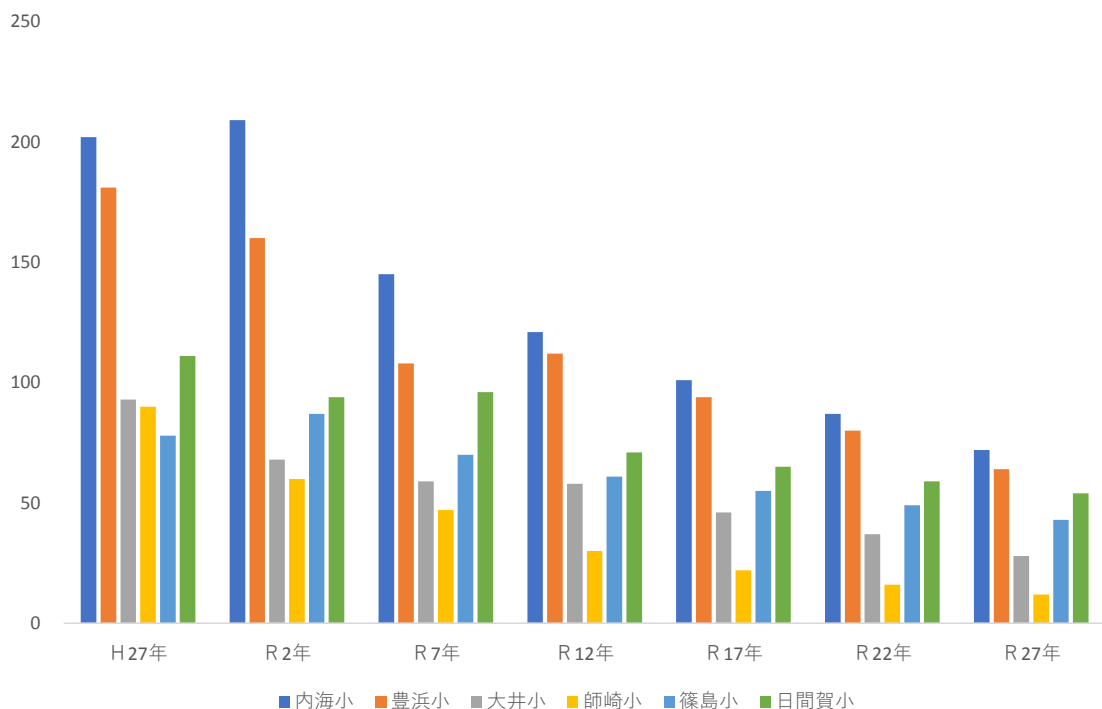
地区別児童数及び生徒数の推移予測

小学校区別にみると 20 年後（令和 17 年）には内海小 101 人、豊浜小 94 人、大井小 46 人、師崎小 22 人、篠島小 55 人、日間賀小 65 人となり、大井小、師崎小より篠島小、日間賀小の児童数が多くなると見込まれます。

小学生(単位:人)

	H27年	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
内海小	202	209	145	121	101	87	72
豊浜小	181	157	108	112	94	80	64
大井小	93	69	59	58	46	37	28
師崎小	90	61	47	30	22	16	12
篠島小	78	84	70	61	55	49	43
日間賀小	111	98	96	71	65	59	54
計	755	678	525	453	383	328	273

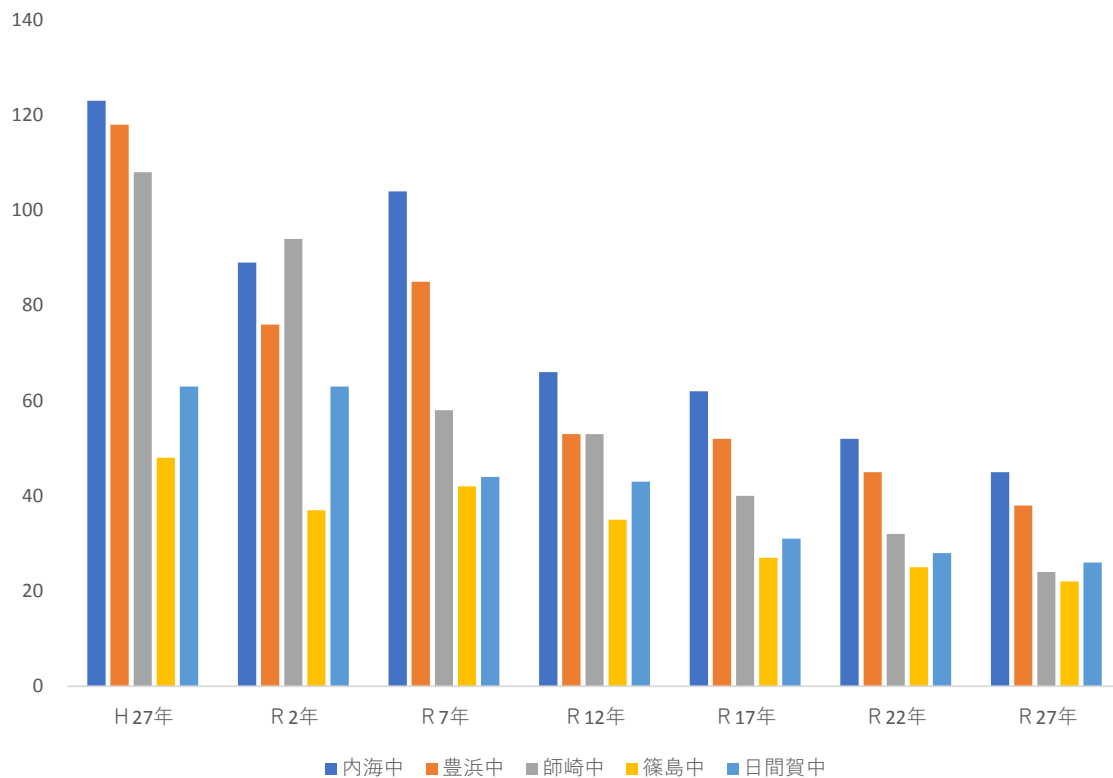
※平成 27 年度、令和 2 年度児童数は実数、令和 7 年度児童数は令和元年 5 月 1 日現在の住民基本台帳による見込み数値、令和 12 年度～令和 17 年度の児童数は、2015 年の国勢調査等による実績をもとに、国土交通省・国土技術施策総合研究所に「将来人口・世帯予測ツール V2 (H27 国調対応版)」を用いた計算結果を加工して作成したものである。なお大字片名字新師崎地区の児童数は大井小学校に計上している。



中学校区別に生徒数をみると、10年後（令和7年）内海中104人、豊浜中85人、師崎中58人、篠島中42人、日間賀中44人であるが、20年後には師崎中は40人となり、篠島中27人、日間賀中31人の生徒数により近くなることが見込まれます。20年後（令和17年）もっとも生徒数の多い、内海中学校は生徒数62人となり、1学年20人規模となると予想されます。

中学生(単位:人)

	H27年	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
内海中	123	89	104	66	62	52	45
豊浜中	118	77	85	53	52	45	38
師崎中	108	93	58	53	40	32	24
篠島中	48	37	42	35	27	25	22
日間賀中	63	63	44	43	31	28	26
計	460	359	333	250	212	182	155



3. 3. 老朽化状況の実態整理

(1) 現地調査による実態把握

「策定解説書」に基づき、学校施設の健全度評価を通じて、老朽化状況の実態把握を行います。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価 【内部仕上げ、電気設備、 機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定している。

① 部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

② 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③ 健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

- ※ 100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
- ※ 健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分		
1 屋根・屋上	C	40	5.1	×	204
2 外壁	D	10	17.2	×	172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	×	1,680
4 電気設備	A	100	8.0	×	800
5 機械設備	C	40	7.3	×	292
計					3,148
÷					60
健全度					52

資料：「策定解説書」

部位「屋上・屋根」、「外壁」、「内装（天井・内壁・床）」「電気」「機械」別に A～D の 4 段階評価を行う。「電気」「機械」は築年数により評価する。

(評価基準)

評価	基準	現象
A	概ね良好	汚れ程度
B	部分的劣化	亀裂が複数みられる コンクリ材下、外壁の黒ずみ コンクリ壁の苔汚れ、赤錆汚れ
C	広範囲に劣化	汚れ、浮き（爆裂）、シーリング材のひび割れ 基礎土台の欠け破損
D	早急に対応する必要がある	白華現象がみられる シーリング材の剥離 基礎の不同沈下 雨漏り

経過年数による評価

評価	基準
A	20 年未満
B	20～40 年
C	40 年以上
D	著しい劣化現象がある

(資料：「策定解説書」)

○健全度の計算

A 100 点、B 70 点、C 40 点、D 10 点とし、数量化を図る。

さらに、部位のコスト配分の基づき健全度計算を行う。

部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

(資料：「策定解説書」)

健全度に見る課題

●D判定に対する対応

- ①篠島小学校屋内運動場の外壁
- ②大井小学校屋内運動場の屋根、屋内

●健全度 40 未満への対応

- ①大井小学校屋内運動場

■健全度一覧

総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60

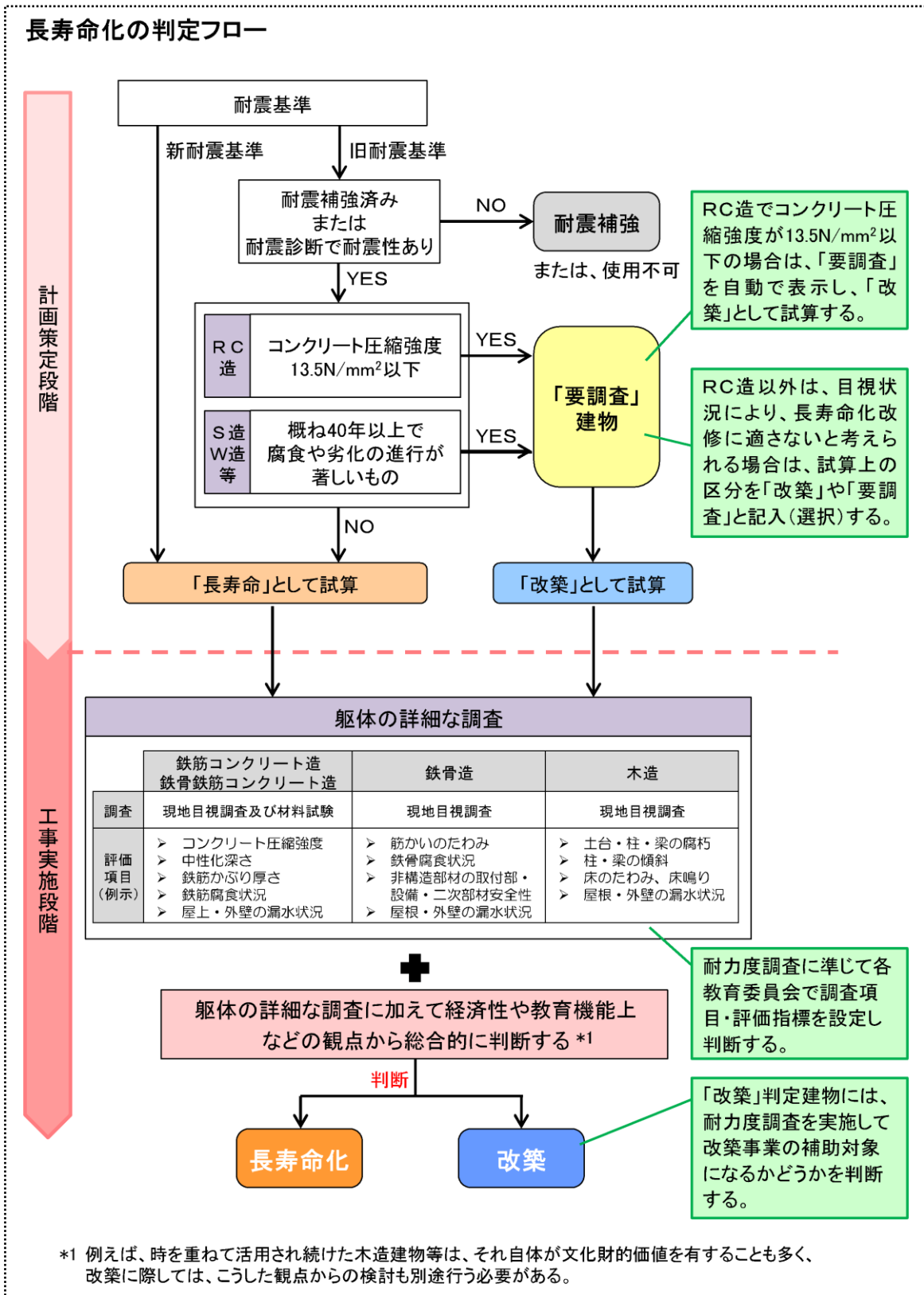
	施設名	建物名	評価					計	健全度算出						健全度
			屋根・屋上	外壁	屋内	電気	機械		屋根・屋上	外壁	屋内	電気	機械	計	
1	内海小学校	本校舎	B	C	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	56
			75	40	75	40	40	270	383	688	1680	320	292	3363	
		特別教室等	B	C	C	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			75	40	40	75	75	305	383	688	896	600	548	3114	
		屋内運動場	C	B	C	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	50
			40	75	40	40	40	235	204	1290	896	320	292	3002	
		北校舎	A	B	B	A	A		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	75	75	100	100	450	510	1290	1680	800	730	5010	
2	豊浜小学校	南校舎	B	B	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	66
			75	75	75	40	40	305	383	1290	1680	320	292	3965	
		屋内運動場	B	B	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			75	75	75	40	40	305	383	1290	1680	320	292	3965	
3	大井小学校	本校舎	B	B	C	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	53
			75	75	40	40	40	270	383	1290	896	320	292	3181	
		特別教室棟	C	C	C	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			40	40	40	75	75	270	204	688	896	600	548	2936	
		屋内運動場	D	C	D	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	35
			10	40	10	75	75	210	51	688	224	600	548	2111	
		本校舎	A	B	B	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	75	75	75	75	400	510	1290	1680	600	548	4628	
4	師崎小学校	特別教室棟	B	C	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	56
			75	40	75	40	40	270	382.5	688	1680	320	292	3362.5	
		屋内運動場	A	B	B	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	75	75	75	75	400	510	1290	1680	600	547.5	4627.5	
5	篠島小学校	本校舎	B	B	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	47
			75	75	75	40	40	305	382.5	1290	1680	320	292	3964.5	
		屋内運動場	B	D	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			75	10	75	40	40	240	382.5	172	1680	320	292	2846.5	
6	日間賀小学校	本校舎	B	B	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	66
			75	75	75	40	40	305	382.5	1290	1680	320	292	3964.5	
		屋内運動場	A	A	A	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	100	100	40	40	380	510	1720	2240	320	292	5082	
7	内海中学校	本校舎	A	A	A	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	85
			100	100	100	40	40	380	510	1720	2240	320	292	5082	
		特別教室棟	B	B	B	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			75	75	75	75	75	375	382.5	1290	1680	600	547.5	4500	
		屋内運動場	A	B	A	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	86
			100	75	100	75	75	425	510	1290	2240	600	547.5	5187.5	
		本校舎	A	A	A	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	100	100	40	40	380	510	1720	2240	320	292	5082	
8	豊浜中学校	特別教室棟	B	A	A	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	83
			75	100	100	40	40	355	382.5	1720	2240	320	292	4954.5	
		屋内運動場	A	A	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	100	75	40	40	355	510	1720	1680	320	292	4522	
9	師崎中学校	本校舎	B	A	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	73
			75	100	75	40	40	330	382.5	1720	1680	320	292	4394.5	
		東特別教室棟	A	A	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	100	75	40	40	355	510	1720	1680	320	292	4522	
		西特別教室棟	A	A	B	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	84
			100	100	75	75	75	425	510	1720	1680	600	547.5	5057.5	
		屋内運動場	A	A	A	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	100	100	75	75	450	510	1720	2240	600	547.5	5617.5	
10	篠島中学校	本校舎	A	B	B	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	77
			100	75	75	75	75	400	510	1290	1680	600	547.5	4627.5	
		屋内運動場	B	B	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			75	75	75	40	40	305	382.5	1290	1680	320	292	3964.5	
11	日間賀中学校	本校舎	A	A	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	84
			100	100	75	40	40	355	510	1720	1680	320	292	4522	
		西特別教室棟	A	A	B	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	100	75	75	75	425	510	1720	1680	600	547.5	5057.5	
		北特別教室棟	A	C	B	C	C		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60	
			100	40	75	40	40	295	510	688	1680	320	292	3490	
	屋内運動場	A	A	B	B	B		5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60		
		100	100	75	75	75	425	510	1720	1680	600	547.5	5057.5		

参考：C・D判定の状況

内海小本校舎	大井小本校舎
	
内海小特別教室棟	大井小特別教室棟
	
内海小屋内運動場	大井小屋内運動場
	
師崎小特別教室棟	日間賀中北特別教室棟
	
篠島小屋内運動場	
	

(2) 長寿命化の判定フロー

学校施設の長寿命化検討は下記のフローにしたがって行います。



■長寿命化判定の結果

建物基本情報														構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)							試算上の区分
1	1881	内海小学校	本校舎	15		小学校	校舎	RC	3	2,577	1973	S48	47	旧	済	済	H17	16.7	長寿命	B	C	B	C	C	56
2	1881	内海小学校	特別教室棟	18		小学校	校舎	RC	2	932	1980	S55	40	旧	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	B	52
3	1881	内海小学校	屋内運動場	17		小学校	体育館	RC	2	626	1978	S53	42	旧	済	済	-	-	長寿命	C	B	C	C	C	50
4	1883	豊浜小学校	北校舎	15		小学校	校舎	RC	3	2,684	2007	H19	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84
5	1883	豊浜小学校	南校舎	10		小学校	校舎	RC	3	1,692	1978	S53	42	旧	済	済	H17	20.2	長寿命	B	B	B	C	C	66
6	1883	豊浜小学校	屋内運動場	8		小学校	体育館	RC	2	752	1974	S49	46	旧	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66
7	1885	大井小学校	本校舎	1		小学校	校舎	RC	3	1,951	1965	S40	55	旧	済	済	H17	17.2	長寿命	B	B	C	C	C	53
8	1885	大井小学校	特別教室棟	8		小学校	校舎	RC	3	1,094	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
9	1885	大井小学校	屋内運動場	7		小学校	体育館	RC	2	713	1981	S56	39	旧	-	-	-	-	長寿命	D	C	D	B	B	35
10	1886	師崎小学校	本校舎	10		小学校	校舎	RC	3	2,467	1980	S55	40	旧	済	済	H17	29	長寿命	A	B	B	B	B	77
11	1886	師崎小学校	特別教室棟	1		小学校	校舎	RC	2	681	1968	S43	52	旧	済	済	H17	20.8	長寿命	B	C	B	C	C	56
12	1886	師崎小学校	屋内運動場	8		小学校	体育館	RC	2	496	1968	S43	52	旧	済	済	H17	17.6	長寿命	A	B	B	C	B	77
13	1887	篠島小学校	本校舎	14		小学校	校舎	RC	3	1,223	1978	S53	42	旧	済	済	H17	17.1	長寿命	B	B	B	B	C	66
14	1887	篠島小学校	屋内運動場	2		小学校	体育館	RC	1	756	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	B	D	B	C	C	47
15	1888	日間賀小学校	本校舎	1		小学校	校舎	RC	3	2,277	1970	S45	50	旧	済	済	H17	21.3	長寿命	B	B	B	C	C	66
16	1888	日間賀小学校	屋内運動場	9		小学校	体育館	S	2	984	1976	S51	44	旧	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	C	C	85
17	4346	内海中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	3	2,956	1964	S39	56	旧	済	済	H17	20	長寿命	A	A	A	C	C	85
18	4346	内海中学校	特別教室棟	6		中学校	校舎	RC	3	663	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
19	4346	内海中学校	屋内運動場	8		中学校	体育館	RC	2	1,454	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	B	B	86
20	4347	豊浜中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	3	3,296	1970	S45	50	旧	済	済	H17	18.4	長寿命	A	A	A	C	C	85
21	4347	豊浜中学校	特別教室棟	2		中学校	校舎	RC	3	1,291	1971	S46	49	旧	済	済	H17	21.7	長寿命	B	A	A	C	C	83
22	4347	豊浜中学校	屋内運動場	5		中学校	体育館	RC	2	1,509	1971	S46	49	旧	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	C	C	75
23	4348	師崎中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	2	1,531	1960	S35	60	旧	済	済	H17	16.5	長寿命	B	A	B	C	C	73
24	4348	師崎中学校	東特別教室棟	2		中学校	校舎	RC	2	605	1970	S45	50	旧	済	済	H17	29	長寿命	A	A	B	C	C	75
25	4348	師崎中学校	西特別教室棟	17		中学校	校舎	RC	2	1,162	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
26	4348	師崎中学校	屋内運動場	22		中学校	体育館	RC	2	1,562	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
27	4349	篠島中学校	本校舎	15		中学校	校舎	RC	5	2,027	1980	S55	40	旧	済	済	H17	20.9	長寿命	A	B	B	B	B	77
28	4349	篠島中学校	屋内運動場	12		中学校	体育館	RC	2	604	1977	S52	43	旧	済	済	H17	19.4	長寿命	B	B	B	C	C	66
29	4350	日間賀中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	2	1,008	1962	S37	58	旧	済	済	H17	13.9	長寿命	A	A	B	C	C	75
30	4350	日間賀中学校	西特別教室棟	11		中学校	校舎	RC	3	568	1974	S49	46	旧	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
31	4350	日間賀中学校	北特別教室棟	15		中学校	校舎	RC	3	605	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	C	C	58
32	4350	日間賀中学校	屋内運動場	20		中学校	体育館	RC	2	788	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84

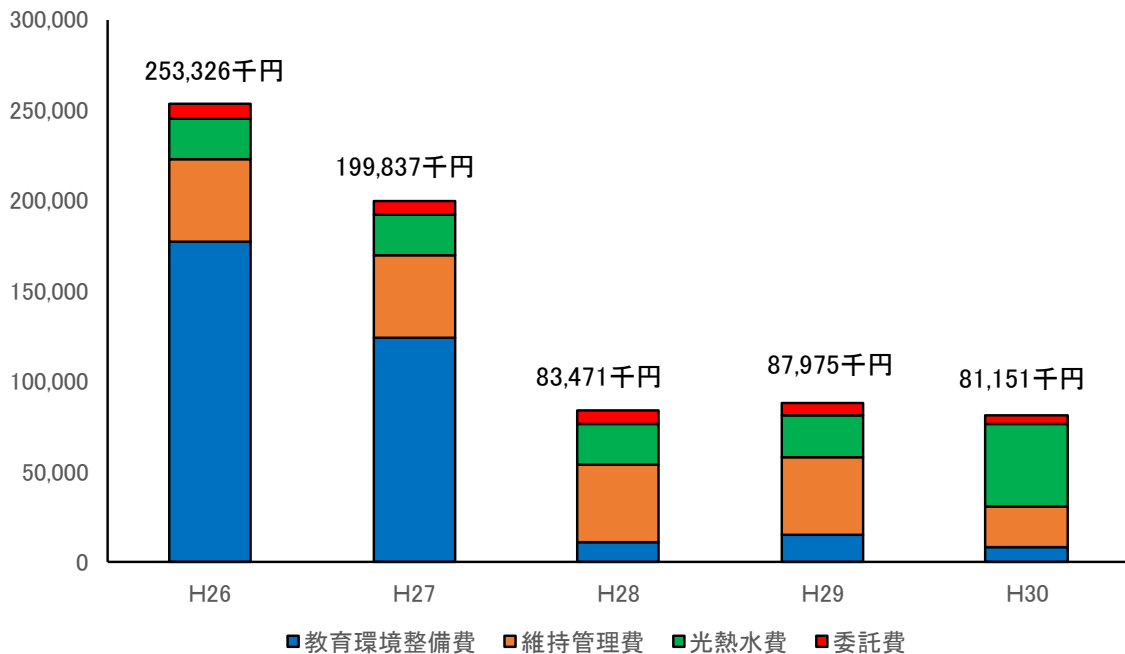
(長寿命化判定結果の続き)

項目	方針	対象施設
長寿命化の対象となる施設	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化検討となる施設（32施設）から、築年数が30年未満の施設（豊浜小北校舎、篠島小屋内運動場）は除く。 ・ただし、篠島小屋内運動場は劣化状況評価で「D」判定が出ているため、長寿命化対象施設とする。 	内海小（本校舎・特別教室棟・屋内運動場） 豊浜小（南校舎・屋内運動場） 大井小（本校舎・特別教室棟・屋内運動場） 師崎小（本校舎・特別教室棟・屋内運動場） 篠島小（本校舎・屋内運動場） 日間賀小（本校舎・屋内運動場） 内海中（本校舎・特別教室棟・屋内運動場） 豊浜中（本校舎・特別教室棟・屋内運動場） 師崎中（本校舎・東特別教室棟・西特別教室棟・屋内運動場） 篠島中（本校舎・屋内運動場） 日間賀中（本校舎・北特別教室棟・西特別教室棟・屋内運動場） 計 31 施設
↓ （上記施設のうち留意を要する事項）		
コンクリート圧縮強度の測定	<ul style="list-style-type: none"> ・旧耐震の建物については、コンクリートの測定が必要となる。 	内海小（特別教室棟） 内海小（屋内運動場） 豊浜小（屋内運動場） 大井小（屋内運動場） 日間賀小（屋内運動場） 豊浜中（屋内運動場） 日間賀中（西特別教室棟） 計 7 施設
劣化状況評価健全度 40 以下	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化状況評価健全度 40 以下の施設については、5年以内に早急な対応が必要となる。 	大井小（屋内運動場） 計 1 施設
劣化状況評価D判定	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化状況評価D判定がある施設については、5年以内に早急な対応が必要となる。 	大井小（屋内運動場） 篠島小（屋内運動場） 計 2 施設

3. 4. 学校施設関連経費の状況

(1) 施設整備費・維持管理費

過去5年間の施設整備費（教育環境整備費）、維持管理費、光熱水費等は以下のとおりです。施設整備費は平成26年と平成27年はおおよそ1.2億～1.7億円、平成28～30年はおおよそ1.0千万～1.4千万円ですが、平成30年度はおおよそ7百万円であり、施設整備費によりその占める割合は大きな影響を受けています。



	H26	H27	H28	H29	H30
教育環境整備費	176,791,520	124,120,874	10,874,536	14,837,590	7,865,920
維持管理費	46,157,943	45,457,098	42,722,237	43,085,002	22,751,761
光熱水費	22,231,394	22,235,180	22,504,895	22,814,135	45,702,392
委託費	8,146,022	8,024,144	7,369,555	7,238,566	4,831,256
学校施設維持費計	253,326,879	199,837,296	83,471,223	87,975,293	81,151,329

	H26	H27	H28	H29	H30
教育環境整備費	69.8%	62.1%	13.0%	16.9%	9.7%
維持管理費	18.2%	22.7%	51.2%	49.0%	28.0%
光熱水費	8.8%	11.1%	27.0%	25.9%	56.3%
委託費	3.2%	4.0%	8.8%	8.2%	6.0%
学校施設維持費計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 5. 学校施設が直面する課題

(1) 児童・生徒数の減少による施設の空洞化

児童生徒数の加速的な減少が予測されており、また本町には離島の学校施設等もあり、児童生徒の教育環境を守っていくためには児童・生徒数の推移変化にあわせた量的及び質的な教育環境の確保が必要であり、学校施設の配置等の見直しが必要となっています。

(2) 整備費用の集中

築年数が30年～50年及び50年以上の教室棟が大半であり、一斉に老朽化が進み、一斉に改築が必要になってくるため、改修費用等が集中することが見込まれます。

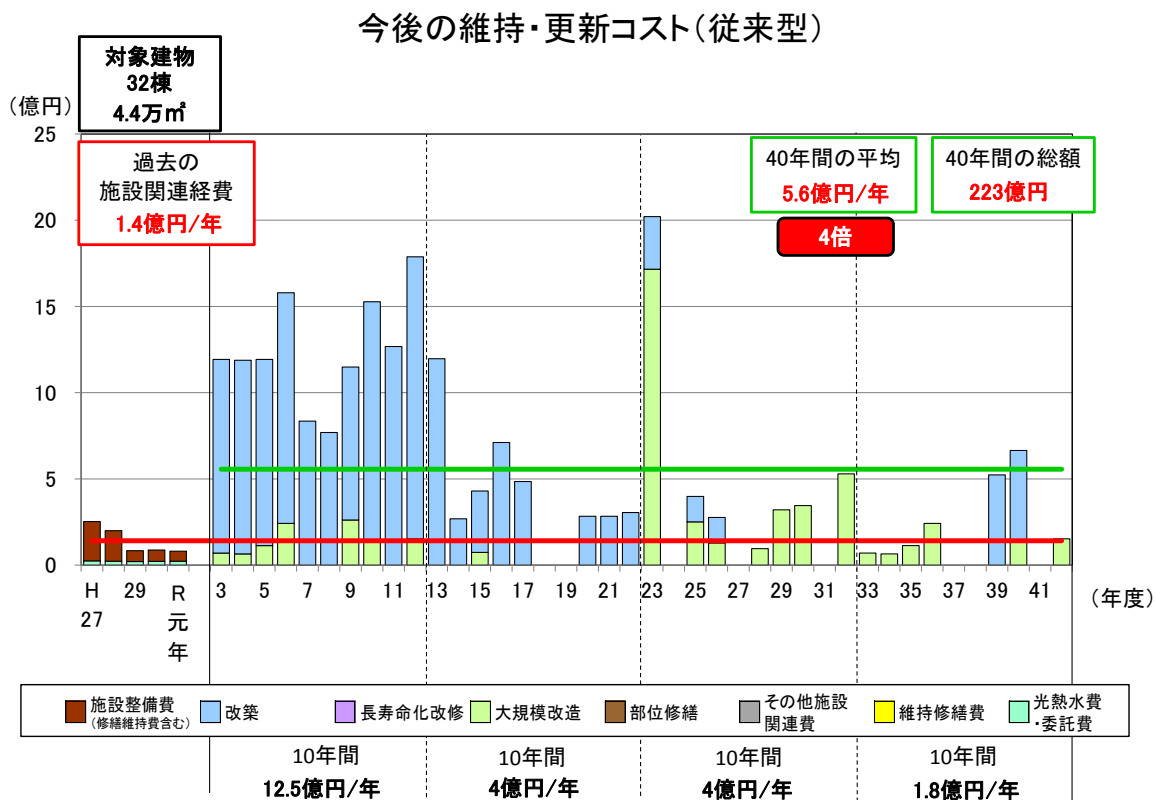
(3) 教育環境の変化に対応した教育環境の整備

学習指導要領の改訂等もあり、教育内容及びそれに対応した教育環境の変化が求められており、老朽化対応だけでなく、転用可能な整備が必要になります。

3. 6. 今後の維持管理コスト

(1) 維持管理コスト、修繕更新コスト

従来、築 50 年で改築（建替え）ををするとして、生じる維持・修繕更新コストは今後 10 年間で 12.5 億円、その後 10～20 年後は 4.0 億円となることがわかります。40 年間の年平均金額は過去の施設関連経費の 4.0 倍になると推測されます。



資料：「付属ソフト」により作成

※上記の維持更新コストは、費用試算をもとに、「従来型」と「長寿命化型」のコスト比較をするために試算したもの。よって実際の整備予定や予算を示すものではありません。

■費用試算

項目	設定	備考
更新周期	50年	
改築（建替）単価	390,000 円/㎡	民間建築物価版「建築コスト情報」（2019年4月）p744 小学校（RC造・3階）2019年1月 諸経費含む工事費 315,000/㎡が算出されており、改築費を割増し 390,000 円/㎡とした
大規模改造単価	97,500 円/㎡（校舎） 85,800 円/㎡（体育館）	改築費の 25%（「付属ソフト」を参考） 改築費の 22%（ " ）

4. 基本的な方針

(1) 施設の基本方針

①教育の質向上と機能の整備そして適正化

ア. 児童生徒数の推移変化や教育内容の変化に対応した教育の質向上を求める

将来的に児童生徒数の減少が見込まれ、また学習指導要領の改訂により教育内容にも変化が予想されます。量的変化と質的变化にも対応した学校施設を適正に判断し、適正立地の検討を行います。

イ. 適正規模と適正配置を図る

将来的に児童生徒数の減少することが見込まれていますが、各校における児童生徒数の見込みに合わせた適正な教室数と適正な規模を検討し、教育内容に対応した施設と設備に配慮し、かつ良好な教育環境となる学校施設としていきます。

②施設の長寿命化と予防保全に取り組む

ア. 「改築」中心から「長寿命化」へ

新築後 50 年後に改築するという「改築」から「長寿命化」に移行させることにより、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減や改築時期の分散による予算の平準化を行います。

イ. 「事後保全」から「予防保全」へ

安全・安心な教育環境を確保するため、改修の標準周期を求め、事後対処的な改修から予防保全的な改修へと転換し、効果的・効率的な改修を行います。

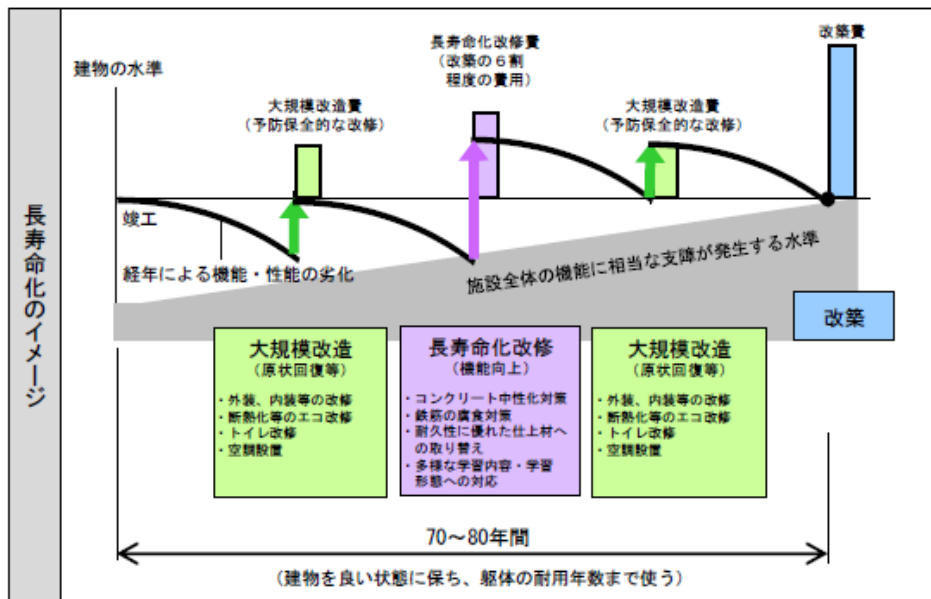
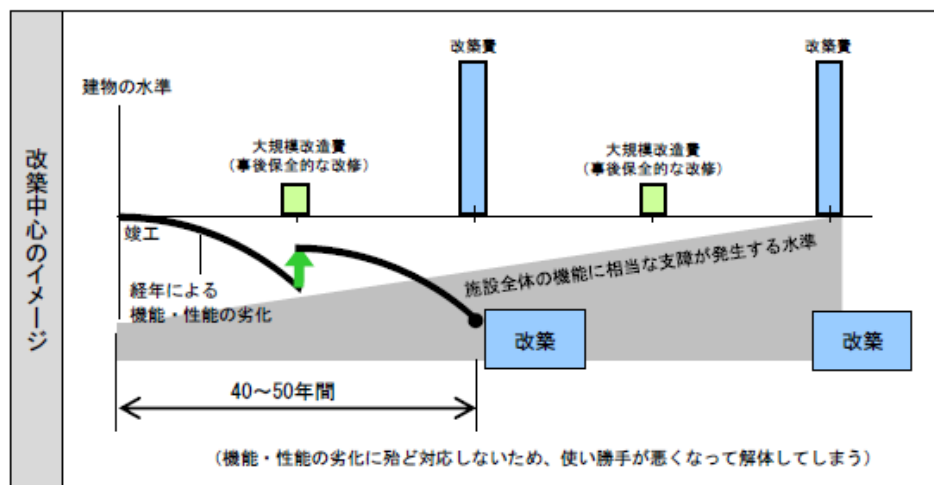
(2) 目標耐用年数の設定

従来は 40～50 年間建物として使用し、経年による機能・性能の劣化により、改築するというしくみをとってきましたが、建物として長寿命化改修を導入することで 70～80 年使用していこうと大きな転換を図っていくのが「長寿命化」の考え方です。

長寿命化を導入していくためには「学校施設の目標耐用年数」を設定する必要があります。

愛知県立学校施設長寿命化計画（2019 年 3 月）に即し、目標耐用年数 80 年とする

改築中心から長寿命化への転換イメージ



資料：「策定解説書」

(3) 長寿命化のパターン検討

①条件設定

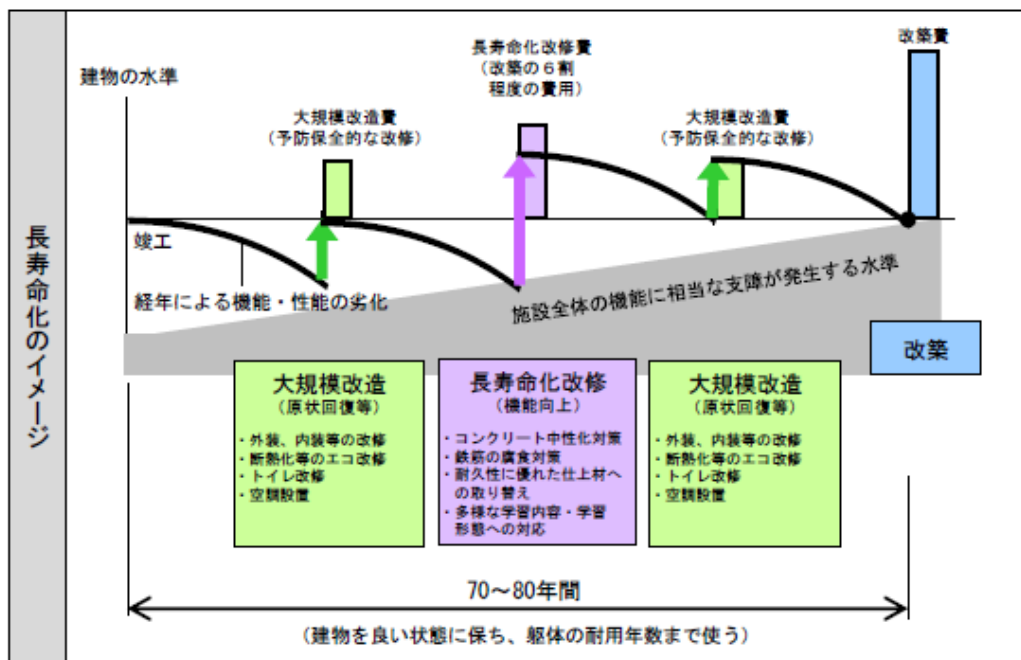
ア. 部位別改修周期

項目		標準耐用年数
建築	外壁	20～30年
	屋上防水	20～30年
電気	受変電設備	30年
	電灯設備	20年
機械	空調設備	20年
	給水設備	20～30年
	エレベーター	30年

資料：「建築物のライフサイクルコスト」（一般社団法人建築保全センター）

イ. 長寿命化のパターン

基準としては耐用年数の1/2超過時点（築40年）を長寿命化検討時点としていますが、本町は築年数の古い建物が多いため、築50年を長寿命化検討時点とした2つのパターンを検討します。



「補助事業採用後30年は使用することが原則である」

(文科省:長寿命化改良事業Q&Aより)

②パターン検討

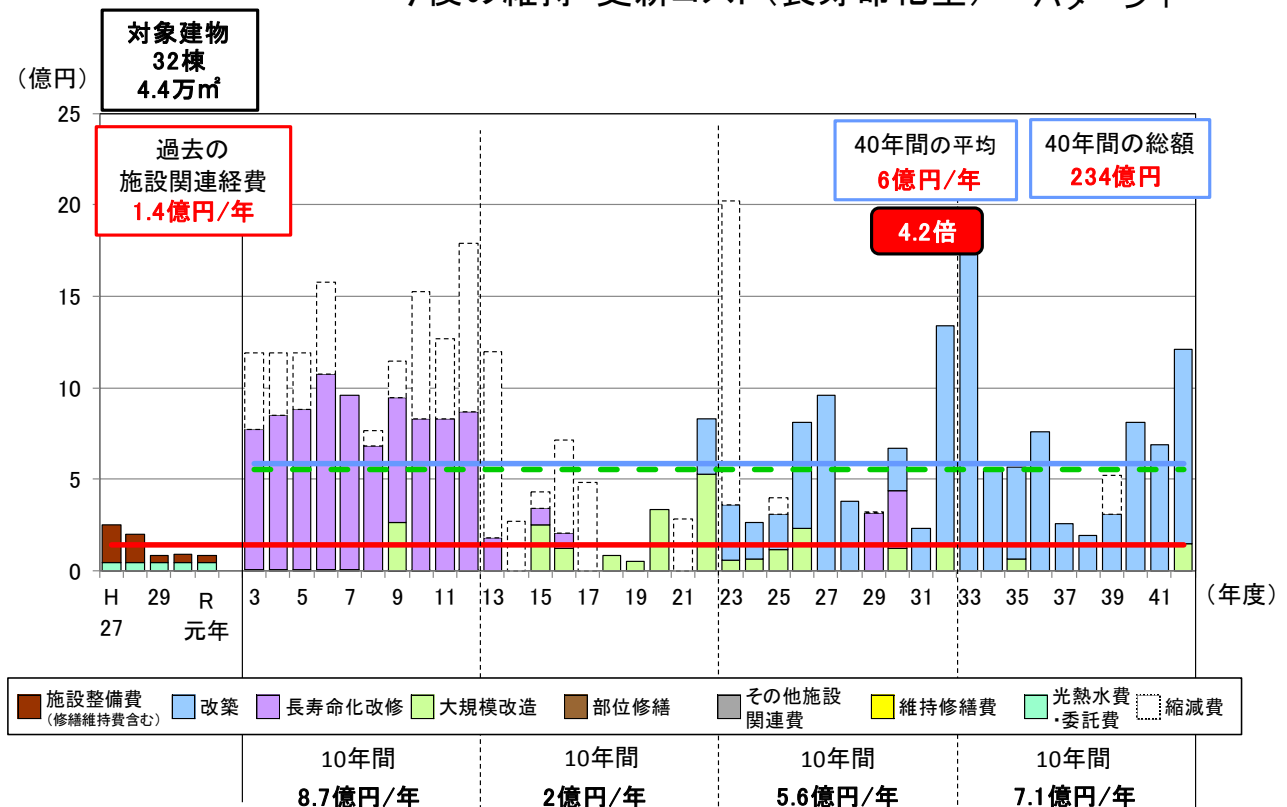
上記、部位別改修周期に基づき、長寿命化の2つのパターンを想定検討しました。

「ア. 築20年：大規模改造⇒築40年：長寿命化改修⇒築60年大規模改修の場合」（パターン1）と、「イ. 築25年：大規模改造⇒築50年：長寿命化改修⇒築80年建替え」（パターン2）の場合を検討したところ、本町の学校施設については「イ.」の場合に改修事業費が平準化し、今後10年間の負担も小さいことがわかりました。

ア. 築20年に大規模改造を行い、築40年に長寿命化改修そして築60年大規模改造、築80年で改築（建替え）の場合（パターン1）

もっとも改修事業の負担が大きいのは今後10年間であり、年8.7億円を要すると見込まれます。

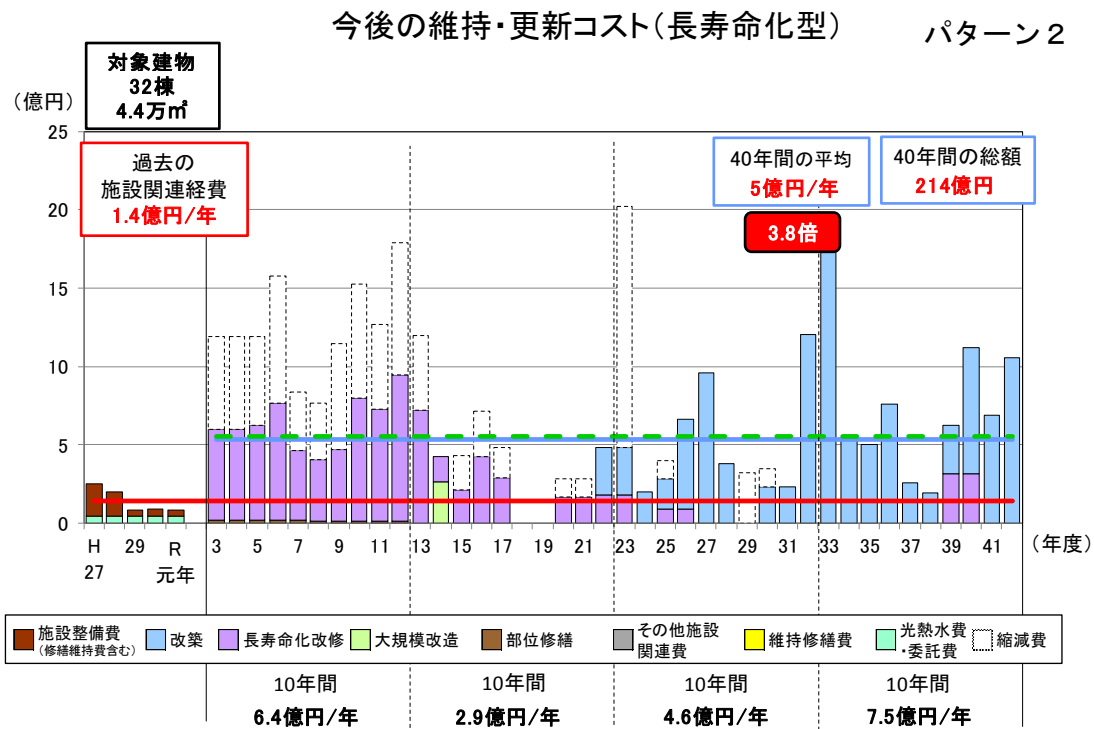
今後の維持・更新コスト(長寿命化型) パターン1



資料：「付属ソフト」により作成

イ. 築 25 年に大規模改造を行い、築 50 年に長寿命化改修そして築 80 年に改築（建替え）（パターン 2）

もっとも改修事業費の負担が大きいのは今後 10 年間で年 6.4 億円を要しますが、築 40 年に長寿命化を行うより軽減化され、各年の改修事業費は平準化されています。



資料：「付属ソフト」により作成

※上記の維持更新コストは、費用試算をもとに、「従来型」と「長寿命化型」のコスト比較をするために試算したもの。よって実際の整備予定や予算を示すものではありません

■費用試算

項目	設定	備考
更新周期	80年	愛知県設定値を参考
改築（建替）単価	390,000 円/㎡	
大規模改造単価	97,500 円/㎡（校舎） 85,800 円/㎡（体育館）	改築費の 25%（「付属ソフト」を参考） 改築費の 22%（ 〃 ）
長寿命化改修単価	234,000 円/㎡	改築費の 60%（ 〃 ）

③長寿命化パターンの検討結果

「ア．築 20 年：大規模改造⇒築 40 年：長寿命化改修⇒築 60 年大規模改修の場合」（パターン 1）と、「イ．築 25 年：大規模改造⇒築 50 年：長寿命化改修⇒築 80 年建替え」（パターン 2）の場合を検討したところ、本町の学校施設については「イ．」（パターン 2）の場合に改修事業費が平準化し、今後 10 年間の負担も小さいことがわかりました。

したがって、本計画では

築 25 年に大規模改造を行い、築 50 年に長寿命化改修を行うパターンに基づき長寿命化実施計画を作成する

5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

大規模改造および長寿命化改修の整備水準を下記のとおり整理します。

■改修等の整備水準整理

項目	大規模改造	長寿命化改修
概要	経年劣化による消耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、耐用性、快適性、省エネ性を確保するための機能回復工事
屋根屋上	・既存防水の撤去・更新	左記、大規模改造整備水準に応じた中性化抑制対策と劣化補修 【RC造】 ・中性化の進行状況に応じた中性化抑制対策と劣化補修 コンクリートの中性化対策 鉄筋の腐食対策 鉄筋のかぶり厚さの確保 【S造】 ・鉄骨の腐食対策 ・接合部の破損の補修 ・エレベーターの更新
外壁 外部建具	・外壁のクラック等の補修、塗り直し ・外壁、外部建具周りのシーリングの撤去・新設 ・外部建具の更新（堅樋改修・強化ガラス化等）	
内壁 内部建具	・内部クラック等の補修・塗り直し ・内部仕上げは劣化状況に応じて修繕又は撤去・新設 ・内部建具の更新 ・教室内の棚・家具については劣化状況に応じて修繕又は撤去・更新	
電気設備	・照明器具のLEDへの更新 ・照明点検系統の細分化や人感センサー等の工夫による消費電力の低減 ・児童火災報知器、感知器・防災盤改修 ・受変電盤の改修 ・故障、不具合等の修繕等	
機械設備	・省エネルギー効果の高い機器への更新 ・受水槽、給排水管の撤去・更新 ・各階トイレの洋式化、乾式床への更新 ・ランニングコスト低減に配慮した機器への更新	
安全機能	・書棚やロッカーの転倒防止対策、耐震化 ・ICT教材を使用するための設備の整備 ・防犯カメラの設置 ・フェンス等の設置による外部領域との明確化	

(2) 維持管理の項目・手法等の設定

学校施設の長寿命化を図るには、日常的・定期的な施設の清掃や点検を行い、機能や性能を良好に保つことが必要になります。

維持管理を日常的・定期的に行い、異変の早期発見や建物の劣化状況の把握につなげることができ、改修計画に反映することができ、施設の機能を良好に保つことができます。

■維持管理の項目および手法等

項目		手法等	
維持管理	維持	清掃	快適な環境を維持するために材料の劣化原因を除去することにより、建物や機器の寿命を延ばす
		改修・修繕	建物等の劣化及び機能低下した部分、部材を実用上、支障ない状態に戻す
	点検	日常点検	機器や設備についての異常の有無・兆候を発見する
		定期点検	機器や設備の破損、腐食等を把握し、修理・修繕等の保全計画を立てる
		法定点検	自主点検では確認できない箇所や法的に定められた箇所について専門業者による点検を行う
		臨時点検	日常・定期点検以外に実施する臨時的な点検
	情報管理	点検結果の保管	点検結果を集約し、点検や現状把握時に活用するとともに改修計画等に反映させる

6. 長寿命化の実施計画の策定

6.1. 長寿命化の実施による維持管理費用の見通し

「4 基本的な方針」で試算したとおり、従来型の維持管理から、南知多町独自の長寿命化パターン2に転換することにより、今後40年間で約9億円のコスト削減効果及び年度間の維持管理費用の平準化が見込まれます。

	今後10年間の平均額	今後40年間の平均額	今後40年間の総額
① 従来型	約12.5億円/年	約5.6億円/年	約223億円
② 長寿命化型 (パターン1)	約8.7億円/年	約6億円/年	約234億円
③ 長寿命化型 (パターン2)	約6.4億円/年	約5億円/年	約214億円
削減効果の見込み (①-③)	約6.1億円/年	約0.6億円/年	約9億円

6.2. 劣化状況等による優先順位の設定

(1) 劣化状況等による優先順位

- ①健全度 40 未満に該当する大井小学校（屋内運動場）を5年以内に改修する
- ②劣化状況D判定の建物（大井小学校（屋内運動場）・篠島小学校（屋内運動場））を5年以内に改修する。

【健全度一覧】

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延べ床 面積	建築年		築年数	健全度
							西暦	和暦		
26	師崎中学校	屋内運動場	22	RC	2	1,562	1990	H2	30	94
19	内海中学校	屋内運動場	8	RC	2	1,454	1988	S63	32	86
16	日間賀小学校	屋内運動場	9	S	2	984	1976	S51	44	85
17	内海中学校	本校舎	1	RC	3	2,956	1964	S39	56	85
20	豊浜中学校	本校舎	1	RC	3	3,296	1970	S45	50	85
4	豊浜小学校	北校舎	15	RC	3	2,684	2007	H19	13	84
25	師崎中学校	西特別教室棟	17	RC	2	1,162	1983	S58	37	84
30	日間賀中学校	西特別教室棟	11	RC	3	568	1974	S49	46	84
32	日間賀中学校	屋内運動場	20	RC	2	788	1984	S59	36	84
21	豊浜中学校	特別教室棟	2	RC	3	1,291	1971	S46	49	83
10	師崎小学校	本校舎	10	RC	3	2,467	1980	S55	40	77
12	師崎小学校	屋内運動場	8	RC	2	496	1968	S43	52	77
27	篠島中学校	本校舎	15	RC	5	2,027	1980	S55	40	77
18	内海中学校	特別教室棟	6	RC	3	663	1982	S57	38	75
22	豊浜中学校	屋内運動場	5	RC	2	1,509	1971	S46	49	75
24	師崎中学校	東特別教室棟	2	RC	2	605	1970	S45	50	75
29	日間賀中学校	本校舎	1	RC	2	1,008	1962	S37	58	75
23	師崎中学校	本校舎	1	RC	2	1,531	1960	S35	60	73
5	豊浜小学校	南校舎	10	RC	3	1,692	1978	S53	42	66
6	豊浜小学校	屋内運動場	8	RC	2	752	1974	S49	46	66
13	篠島小学校	本校舎	14	RC	3	1,223	1978	S53	42	66
15	日間賀小学校	本校舎	1	RC	3	2,277	1970	S45	50	66
28	篠島中学校	屋内運動場	12	RC	2	604	1977	S52	43	66
31	日間賀中学校	北特別教室棟	15	RC	3	605	1984	S59	36	58
1	内海小学校	本校舎	15	RC	3	2,577	1973	S48	47	56
11	師崎小学校	特別教室棟	1	RC	2	681	1968	S43	52	56
7	大井小学校	本校舎	1	RC	3	1,951	1965	S40	55	53
2	内海小学校	特別教室棟	18	RC	2	932	1980	S55	40	52
3	内海小学校	屋内運動場	17	RC	2	626	1978	S53	42	50
8	大井小学校	特別教室棟	8	RC	3	1,094	1984	S59	36	49
14	篠島小学校	屋内運動場	18	RC	1	756	1993	H5	27	47
9	大井小学校	屋内運動場	7	RC	2	713	1981	S56	39	35
						43,534				

(2) 築年数による優先順位

築年数による優先順位の設定については次のような考え方にに基づき設定します。

【再掲】

建物基本情報

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延べ床 面積	建築年		築年数
							西暦	和暦	
4	豊浜小学校	北校舎	15	RC	3	2,684	2007	H19	13
14	篠島小学校	屋内運動場	18	RC	1	756	1993	H5	27
26	師崎中学校	屋内運動場	22	RC	2	1,562	1990	H2	30
19	内海中学校	屋内運動場	8	RC	2	1,454	1988	S63	32
8	大井小学校	特別教室棟	8	RC	3	1,094	1984	S59	36
31	日間賀中学校	北特別教室棟	15	RC	3	605	1984	S59	36
32	日間賀中学校	屋内運動場	20	RC	2	788	1984	S59	36
25	師崎中学校	西特別教室棟	17	RC	2	1,162	1983	S58	37
18	内海中学校	特別教室棟	6	RC	3	663	1982	S57	38
9	大井小学校	屋内運動場	7	RC	2	713	1981	S56	39
2	内海小学校	特別教室棟	18	RC	2	932	1980	S55	40
10	師崎小学校	本校舎	10	RC	3	2,467	1980	S55	40
27	篠島中学校	本校舎	15	RC	5	2,027	1980	S55	40
3	内海小学校	屋内運動場	17	RC	2	626	1978	S53	42
5	豊浜小学校	南校舎	10	RC	3	1,692	1978	S53	42
13	篠島小学校	本校舎	14	RC	3	1,223	1978	S53	42
28	篠島中学校	屋内運動場	12	RC	2	604	1977	S52	43
16	日間賀小学校	屋内運動場	9	S	2	984	1976	S51	44
6	豊浜小学校	屋内運動場	8	RC	2	752	1974	S49	46
30	日間賀中学校	西特別教室棟	11	RC	3	568	1974	S49	46
1	内海小学校	本校舎	15	RC	3	2,577	1973	S48	47
21	豊浜中学校	特別教室棟	2	RC	3	1,291	1971	S46	49
22	豊浜中学校	屋内運動場	5	RC	2	1,509	1971	S46	49
15	日間賀小学校	本校舎	1	RC	3	2,277	1970	S45	50
20	豊浜中学校	本校舎	1	RC	3	3,296	1970	S45	50
24	師崎中学校	東特別教室棟	2	RC	2	605	1970	S45	50
11	師崎小学校	特別教室棟	1	RC	2	681	1968	S43	52
12	師崎小学校	屋内運動場	8	RC	2	496	1968	S43	52
7	大井小学校	本校舎	1	RC	3	1,951	1965	S40	55
17	内海中学校	本校舎	1	RC	3	2,956	1964	S39	56
29	日間賀中学校	本校舎	1	RC	2	1,008	1962	S37	58
23	師崎中学校	本校舎	1	RC	2	1,531	1960	S35	60
						43,534			

(3) 優先順位

優先順位の考え方

- ア. 健全度 40 未満、劣化状況 D 判定の建物については 5 年以内の改修が求められる
- イ. 築 13 年豊浜小学校北校舎以下、32 棟すべての建物が長寿命化改修の対象となる

②優先順位の設定

各学校施設の建物（棟）別に改造、改修する方法と各学校別に行う方法、双方が可能であるが、棟別に優先順位をもうけ、学校施設一体として改修する方が学校運営上等から効率的な場合は学校別も検討する。

※長寿命化改修事業対象建物と対象外建物を併せて工事する場合、工事実施面積のうち、長寿命化改修事業の対象面積が 50%以上を満たせば、築 40 年未満でも国庫補助対象となる（長寿命化改修事業 Q & A による）

各棟別の優先順位

緊急改修	大井小学校屋内運動場 篠島小学校屋内運動場
------	--------------------------

	優先順位	該当する学校	優先順位	該当する学校
長 寿 命 化 改 修	1	師崎中本校舎	21	師崎小本校舎
	2	日間賀中本校舎	22	内海小特別教室棟
	3	内海中本校舎	23	大井小屋内運動場
	4	大井小本校舎	24	内海中特別教室棟
	5	師崎小屋内運動場	25	師崎中西特別教室棟
	6	師崎小特別教室棟	26	日間賀中屋内運動場
	7	師崎中東特別教室棟	27	日間賀中北特別教室棟
	8	豊浜中本校舎	28	大井小特別教室棟
	9	日間賀小本校舎	29	内海中屋内運動場
	10	豊浜中屋内運動場	30	師崎中屋内運動場
	11	豊浜中特別教室棟	31	篠島小屋内運動場
	12	内海小本校舎	32	豊浜小北校舎
	13	日間賀中西特別教室棟		
	14	豊浜小屋内運動場		
	15	日間賀小屋内運動場		
	16	篠島中屋内運動場		
	17	篠島小本校舎		
	18	豊浜小南校舎		
	19	内海小屋内運動場		
	20	篠島中本校舎		※網掛けは緊急改修と重複

学校別の優先順位

	優先順位	該当する学校	優先順位	該当する学校
長 寿 命 化 改 修	1	師崎中本校舎 師崎中東特別教室棟 師崎中西特別教室棟 師崎中屋内運動場	9	豊浜小屋内運動場 豊浜小南校舎 豊浜小北校舎
	2	日間賀中本校舎 日間賀中西特別教室棟 日間賀中屋内運動場 日間賀中北特別教室棟	10	篠島中屋内運動場 篠島中本校舎
	3	内海中本校舎 内海中特別教室棟 内海中屋内運動場	11	篠島小校舎 篠島小屋内運動場
	4	大井小本校舎 大井小特別教室棟 大井小屋内運動場		
	5	師崎小屋内運動場 師崎小特別教室棟 師崎小本校舎		
	6	豊浜中屋内運動場 豊浜中特別教室棟 豊浜中本校舎		
	7	日間賀小本校舎 日間賀小屋内運動場		
	8	内海小本校舎 内海小屋内運動場 内海小特別教室棟		

6.3. 計画期間内の実施計画

上記の優先順位に基づき、改修計画を進めていくところですが、現在、小中学校適正規模適正配置を検討しています。現時点では、小学校の再編基本計画を策定し、中学校については、再編実施計画の策定途中の段階であり、今後の対応方策まで明確にすることができません。

計画期間内の実施計画については、本計画の上位計画である「南知多町公共施設等総合管理計画」の改訂、「中学校再編実施計画」に基づき、学校施設または町有施設全体に係る維持・更新等の財政負担の平準化の観点から、別途検討することとします。

また、長寿命型による維持・更新を実施していくとしても、現状の小中学校の規模（11校）を維持するためには、40年間で平均1年あたり約5億円が必要となります。過去5年間の施設関連経費の平均約1億4千万円を大きく上回る費用が想定されます。ひっ迫した現在の財政状況を考えると大変厳しい状況です。事業実施にあたっては、学校施設の劣化度を踏まえ、長寿命化を図るうえで必要な部分を改修することなど、財政部門と協議を行いながら、費用の確保を目指していきます。その際、国庫補助等も適切に活用し、財政負担を軽減します。

学校施設の老朽化や、故障・不具合の発生状況は、それぞれの立地状況や施設の使われ方によって異なります。適切な調査や日常的な点検の実施によって学校施設の状態を把握し、実施計画に反映していきます。

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

本計画を推進する上では、学校施設における情報の蓄積が重要となります。そのため、学校施設の施設基本情報や改修情報、修繕情報、さらに日常点検や各種点検情報を毎年更新しながら、予防保全型コスト算定や継続的な施設管理に活用できるように一元管理することとします。

(2) 推進体制等の整備

公共施設総合管理計画による全庁的な基準・方針を踏まえ、本計画を継続的に運用していくため、学校と連携しながら教育委員会が中心となって関係部署と協議・調整を行い、本計画の取組を進めていくこととします。

(3) 財源の確保

安全・安心で質の高い教育及び教育環境を維持するためには、財政支出面で大きな負担となることから、今後も国の補助事業や有利な地方債を積極的に活用し、財政負担の低減を図ることとします。

(4) フォローアップ

学校施設整備を進めていくためには、計画・目標(Plan)、実施(Do)、検証(Check)、見直し改善(Act)のPDCAサイクルを確立することが重要です。

計画・目標 (P)	施設の現状を把握したうえで、それをふまえた実施計画を策定する	
実施 (D)	実施計画に基づいた改修等の実施	
検証 (C)	実施効果を顕彰し、改善点の整理	
見直し改善 (A)	次期実施計画に反映	